

平成29年度愛知農業賞表彰式を開催しました

公益財団法人愛知県農業振興基金では、愛知県の農業・農村の振興や発展に尽くした個人や団体を表彰する農業振興功労者表彰事業（表彰名：愛知農業賞）を平成18年度から実施しています。

このたび、平成29年度の受賞者が決定し、平成29年12月25日（月）午後2時からJAあいちビルにおいて表彰式を開催しました。



（受賞者 左から長縄光延氏、飯田喜美子氏）

受賞者のプロフィールは次のとおりです。

技術改善部門：長縄 ながなわ 光延 みつのぶ 氏（春日井市）

農業改良普及員時代から定年退職後の現在に至るまで一貫して果樹生産の技術普及に携わり、本県の特産であるイチジクの栽培技術の向上や産地育成に力を注いできました。特にイチジクの高品質果実の出荷に欠くことのできない予保冷出荷技術の実用化に貢献するとともに、「イチジク株枯病抵抗性台木を利用した生産安定技術の確立」に向けての技術指導や優良母樹の確保や苗増殖、さらに安定収量確保のための雨よけ栽培の普及にも主導的に取り組んできました。

また、JA営農指導員の育成や現地指導会の支援、新規生産者の育成にも尽力し、近年開校したJAの「いちじくスクール」では、設立から運営・技術栽培面での指導に携わってきました。

農業・農村振興部門：飯田 ^い ^い ^だ ^き ^み ^こ 喜美子 氏（愛西市）

酪農を主体に水田・露地野菜等、家族による複合農業を営むかたわら、女性の地域・社会参画活動に率先して参画し、地域の信頼を得てきました。

地域では、読み語りボランティアグループを立ち上げ、出前授業や読み聞かせ活動に積極的に参加しています。また、女性農業委員として農地巡回など職務を果たす一方で、小学生を対象に「命の授業」として、牛の誕生から搾乳、飼育、病気、牛との別れ等、「いのち」を題材とした食農教育を行っています。さらには、教職員を対象とした味噌づくり指導を行うとともに、女性農業者の資質向上に向けた育成活動にも力を注ぎ、地域の農業・農村振興に大きく貢献しました。